

# 読書のすすめ

新入生の皆さん、入学おめでとう。入学にあたってまずは基本となる読書のすすめについてお話ししたいと思います。

もう50年以上前の私が高校生の頃、国語は、正解がひとつだけではないように感じて苦手でした。一方、物理や化学、数学などは明快であり、典型的な理系の人間として、長崎大学へ進み、医学部を卒業し、医師として臨床と研究の研鑽を積み、そのまま大学に残って仕事を続けています。

しかし青春期とその後の自分の壮年期を考えると、読書に使う時間と質に大きな差があることに気づきました。壮年期では専門分野を深く、また広く知ることは当然ですが、海外へ仕事の間が広がるにつれ、日本の歴史や伝統、外国のことも、多様な知識を身につける必要も感じるようになりました。

このような時に、全て入力力は読書です。

テレビなどの画像による入力では、反すうする間もなく、自分の頭に留まらないことが多いようですが、文字からの入力によりしっかり自分の血となり肉となっています。読書そのものの大切さにもっと若いときから気付いていれば、さらに豊かな人生があったかもしれないと思っています。



人生100年時代と言われる現代を、楽しみながら生きるためには、常に好奇心を絶やすことなく、頭を鍛えるための入力が必要です。義理の母は94歳の今も毎日、近くの図書館から借りてきた小説などを1日

に1冊のペースで読み、本当に読書を楽しんでいます。私から見ると理想的な高齢者です。

新入生の皆さん、ぜひ長崎大学で、将来の大きな糧となる読書という習慣を身につけ、今後の長い人生の大きな基礎を身につけて下さい。

河野 茂

## CONTENTS

長崎大学広報誌  
[チョーホー]  
Choho Vol.67

本誌記事を長崎大学関係者が転載する場合は、「長崎大学広報誌Choho vol.〇から」と明記してください。学外の方は、事前に広報戦略本部までご連絡願います。

学長室だより	読書のすすめ	1	表紙のはなし  3月10日、長崎ブレイクスループロジェクト最終コンペ「ビジネスくんち」が中部講堂で行われました。県内外の学生チームが構築したビジネスプランを発表。インドをマーケットに見据え、お薬手帳のような機能を持つアプリケーション開発に挑戦した「インドでお薬手帳チーム」が最優秀賞を受賞しました。写真は、発表を担当した李明恩さん(薬学部1年)。堂々としたプレゼンテーションで、チームに好評価をもたらしました。
特集	挑戦	2	
	長崎大学リレー講座 2018 挑戦が生み出すもの	11	
研究最前線	開発途上国も、日本も光の当たらないところに光を 大西真由美	15	
地域で活かされる 長崎大学の「知」	IT先端技術習得講座	17	
グラバー図譜	カエルアンコウ / 山口敦子	19	
Information	公開講座情報 クイズ&編集後記	21	